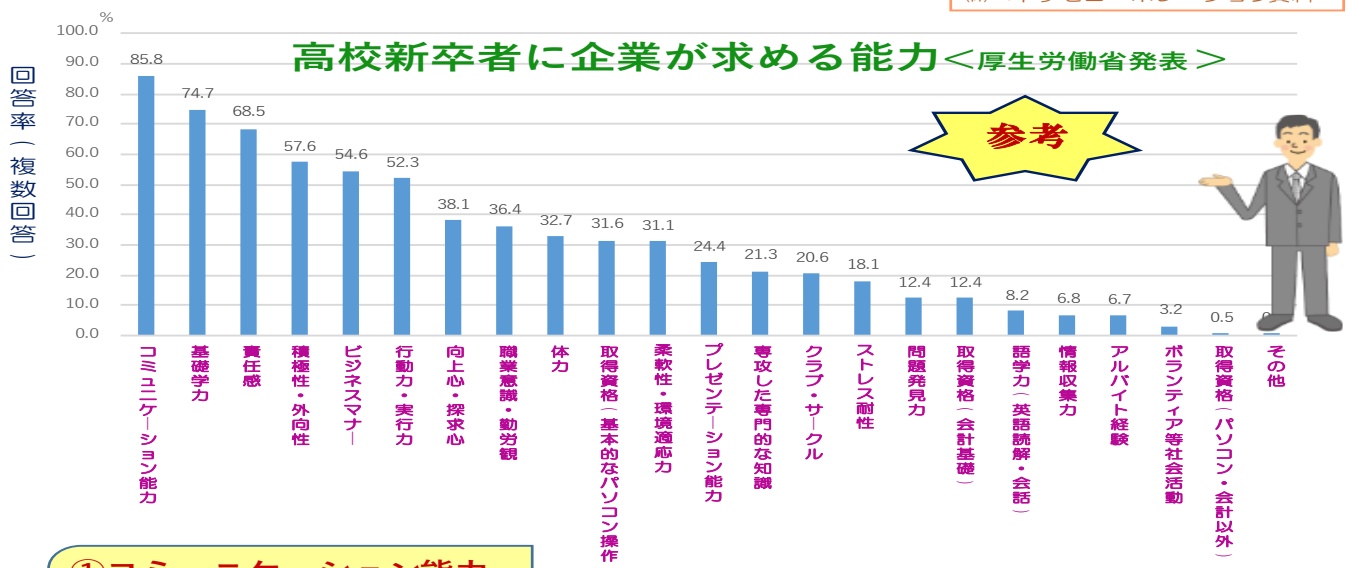
進路相談員だより

第８号（保護者・教職員向け）
令和７年 11 月 21 日発行
北海道教育庁根室教育局

「企業が求める人材」とは！

※知ってお子さん（生徒）の就職活動に役立てよう

㈱ベネッセコーポレーション資料



①コミュニケーション能力
②基礎学力
③責任感
上位３項目は大学卒も同じ

→ 高校在学中の学習姿勢や学校生活が大きく影響する!

◎次に、企業の高校新卒者に対する実態や、企業が採用～雇用継続のために努力している内容を知りましょう。

【高校新卒者の実態例】
①叱られることに慣れていないから、すぐ落ち込んでしまい仕事にならない。
②言われたことしかやらない。
③仕事に慣れてきても、次に何をやったらいいかと自ら動こうとしない。
④人の話を聞かず、相手に確かめず、勝手に判断してしまう。
⑤人の話を理解しているのかどうか、反応がなく不安になる。
⑥仕事のやり方に対して自分の思いがあるのは評価できるが、新人のうちは指導する先輩のやり方を素直に学ぶ姿勢が必要。
⑦ミスしても謝らない。
⑧働いてお金を頂いているという意識が薄い。
⑨取引先様や職場の上司に対して、敬語を使うことができない。
⑩取引先様はもちろん社内でも挨拶ができない・しない。
⑪自分の失敗やできないことを周りのせいにする。
⑫基本的な漢字の読み書きができない。
⑬会社では複数の人間が働いており、それぞれの役割があって、チームワークで働いているという意識がない。
⑭電話を取れない、取らない。

【「働き方改革」も併せ企業は雇用環境を良好に保つために努力しています】
①若い者の労務管理に気を遣っている。
②業務上「いじめ」が無いよう常に確認している。
③給与・休日・産休・育休等の福利厚生を中心とした労務改善の実施。
④残業時間の短縮。
⑤社費による資格取得促進。
⑥採用後、給与を支給し専門学校へ行かせ資格を取らせている。
⑦新入社員は土日を休日とし仕事現場も近隣としている。
⑧新入社員は怒らない。
⑨なるべく褒めて使う。
⑩本人の向き不向きによって部署を変更している。
⑪パワハラ、セクハラ等ハラスメントが無いよう社員教育も含め気を遣っている。

◎時代は変わりつつも企業の仕事内容は極端に変わっていませんので、新入社員はそれに順応することが必要と思われます。